

平和のシンボル、金魚が泳ぐ城下町。



# 大和郡山市 定例 兼 臨時記者会見

(平成30年 11月)

日時：平成30年11月29日(木)  
13時00分～

場所：大和郡山市役所  
2階 200会議室

## 【定例】

- 11～12月分 行事予定
- 第17回「やまここおりやま人権フェア」について（人権施策推進課）
- 「初日の出は郡山城天守台へ」の開催（都市計画課）
- 大和郡山市「町家物語館」開館一周年  
～古き町家をボンネットバスで訪ねて～（観光協会）
- 町家物語館1周年記念企画「町家と本と森のねんどの物語」  
同時開催「昭和レトロ看板展」（地域振興課）
- 「第7回 水木十五堂賞」受賞者発表及び授賞式について（企画政策課）
- ・その他

## 【臨時】

- 平成30年 第4回 市議会定例会 議案

平成30年11月29日

## 報道資料

<b>件名</b>	第17回「やまとおおりやま人権フェア」について
<b>日時 ・ 場所</b>	平成30年12月8日(土) 13:00～15:10 (予定) DMG MORI やまと郡山城ホール 小ホール
<b>概要</b>	<p>(趣旨)</p> <p>国連が1948年12月10日の第3回総会で、基本的人権尊重の普遍的な原則を定めた「世界人権宣言」が採択されたのを記念し、1950年第5回総会において、12月10日を「人権デー」と定め、毎年、この「人権デー」を最終日とする1週間を「人権週間」と定めています。この「人権週間」にあたり、あらためて人権問題に理解を深め、人権意識を高めていただくとともに、サブテーマでもあります「人と人が互いに支え合うことのできる人権のまちづくり」の実現を目指すことを目的に開催するものです。</p> <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第17回人権ショートレター入賞者発表・最優秀賞、優秀賞の朗読</li> <li>・太鼓演奏 矢ッターキッズⅡ (矢田小学校)</li> <li>・講演            講師 ジャーナリスト 安田浩一さん            「ヘイトスピーチとは何か～差別と偏見の現場を取材して～」            安田さんは、移住労働者問題を取材する過程で外国人嫌悪を目の当たりにされてきました。            その後、ヘイトスピーチや、日本で外国人研修・技能実習制度で働いている外国人の過酷な労働実態、外国人差別など、長年、外国人労働者問題、人種差別問題に取り組んでこられました。そんな、安田さんにヘイトスピーチの実態や、差別の状況について講演していただきます。</li> <li>・人権相談所</li> </ul> <p>(その他) 啓発物品配付</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和工業団地協議会の加盟企業である(株)エビスとタイアップして地元企業の製品(歯ブラシ)を啓発物品として採用し、啓発活動に使用するとともに地元企業の振興に少しでも寄与しようとするものです。</li> </ul>
<b>問合せ</b>	大和郡山市市民生活部人権施策推進課 0743-53-1558

# 人権フエア

～人と人が互いに支え合うことのできる人権のまちづくり～

## ヘイトスピーチとは何か

～差別と偏見の現場を取材して～



安田さんは、移住労働者問題取材する過程で外国人嫌悪を目の当たりにされてきました。その後、ヘイトスピーチや、日本で外国人研修・技能実習制度で働いている外国人の過酷な労働実態、外国人差別など、長年、外国人労働者問題、人種差別問題に取り組んでこられました。そんな、安田さんにヘイトスピーチの実態や、差別の状況について講演していただきます。



安田 浩一さん(ジャーナリスト)

2018年 12/8(土)

13:00～ (受付12:30)

DMG MORI やまと郡山城ホール  
小ホール

入場無料

### プロフィール

1964 年生まれ。『週刊宝石』(光文社)、『サンデー毎日』(毎日新聞社)記者などを経てフリーランスに。

各種事件、労働問題、人権問題等を取材執筆。

2012 年、講談社ノンフィクション賞、日本ジャーナリスト会議賞を受賞。

2014 年、大宅壮一ノンフィクション賞受賞(雑誌部門)。

『ネットと愛国』(講談社)、『ルポ差別と貧困の外国人労働者』(光文社)、『ヘイトスピーチ』(文芸春秋)、『沖縄の新聞は本当に「偏向」しているのか』(朝日新聞出版)、『「右翼」の戦後史』(講談社)など著書多数。

☆第17回人権ショートレター入賞者発表

最優秀賞・優秀賞の朗読

☆和太鼓演奏

矢ッターキッズⅡ

☆第17回人権ショートレター入賞者作品

小ホール前にて展示

☆人権相談所

DMG MORI やまと郡山城ホール

2階 会議室B

10:00～12:00

※予約不要

※午前11時現在で警報が発令されている場合は中止です。

〈主催〉大和郡山市人権のまちづくり推進協議会 〈共催〉大和郡山市・大和郡山市教育委員会

お問い合わせ

大和郡山市 人権施策推進課

TEL: 53-1151(内線334) FAX: 53-1211

平成30年11月29日

## 報道資料

件名	「初日の出は郡山城天守台へ」の開催
日時	平成31年1月1日（火・祝）午前6時00分～午前8時00分 ※雨天・荒天中止
場所	郡山城天守台展望施設周辺
概要	(趣旨) 平成31年1月1日に郡山城天守台展望施設を特別に開放し、展望施設から初日の出を拝み、一年の無病息災を願います。 (主催) 郡山城にぎわいづくり実行委員会 (参加費) 無料 (内容) 初日の出観賞 甘酒・あめ湯の無料ふるまい（無くなり次第終了）
問合せ	大和郡山市 都市建設部 都市計画課 電話 0743-53-1151(内線633)

2019新春

# 初日の出は 郡山城天守台へ

郡山城天守台展望施設にて

2019年1月1日(火・祝)

午前6時～午前8時 (雨天・荒天中止)

甘酒・あめ湯を無料でふるまいます(無くなり次第終了させていただきます) 初日の出予定時刻 AM7:15頃

●当日は混雑する場合があります。みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます ●会場周辺には駐車場がありません。お車でのご来場はご遠慮ください ●郡山城天守台展望施設は通常10月～翌年3月の期間、午前7時～午後5時まで開放しております。今回は特別に開放時間を変更して実施します。

主催 郡山城にぎわいづくり実行委員会

共催 大和郡山市/大和郡山市商工会/大和郡山市観光協会/柳澤神社/郡山女性ネットワーク/明日のお城と城下町を考える会

問合せ先 大和郡山市 都市建設部 都市計画課 TEL:0743-53-1689 (月～金曜 8:30～17:15) ※年末は12月28日まで

平成30年11月29日

## 報道資料

<b>件名</b>	『大和郡山市「町家物語館」開館一周年記念 ～古き町家をボンネットバスで訪ねて～』
<b>日時 ・ 場所</b>	(出発日) 2019年1月12日(土) (集合場所、出発時間) ・JR郡山駅東口バス停①乗り場 午前9時発 ・近鉄郡山駅バス停②乗り場 午前9時20分発 (解散場所、解散時間) ・近鉄郡山駅バス停 午後3時55分着 ・JR郡山駅東口バス停 午後4時15分着
<b>概要</b>	<p>本年1月10日に大正期の遊郭建築で国の登録有形文化財「旧川本家住宅」は耐震が補強し、「町家物語館」として生まれ変わり一般公開を始めました。</p> <p>「町家物語館」は、遊郭の歴史を伝えるとともに、演劇や音楽イベントの会場としても利用されています。来年1月に開館1周年を迎えることから、記念イベントを楽しんでいただきながら、市内の古き町家の散策や郡山城跡をボンネットバスで巡っていただきます。昼食は箱本館「紺屋」で、金魚コレクションや染物屋を営んでいた頃の様子を見学していただきながら、創業50年余の老舗寿司店の小花寿司のお弁当を召し上がっていただきます。</p> <p>(コース) =ボンネットバスで移動 →徒歩  各駅=和田徳→町家物語館→源九郎稻荷神社→箱本館「紺屋」(昼食)→中嶋源九郎餅本舗=郡山城跡等見学(柳沢文庫・城址会館・天守台)=菊屋=各駅  (参加費)  お一人様 5,700円  (最少催行人数)  20名</p>
<b>問合せ</b>	(予約) 奈良交通本社旅行センター TEL:0742-20-3140 (問い合わせ) 一般社団法人 大和郡山市観光協会 〒639-1132 奈良県大和郡山市高田町92-16 (市民交流館) <a href="tel:0743-52-2010">TEL:0743-52-2010</a>

# 大和郡山市「町家物語館」開館1周年記念

## ～古き町家をボンネットバスで訪ねて～

【1月12日（土）】限りのボンネットバス企画ツアー

「町家物語館」開館1周年記念イベント開催期間 1月8日（火）～14日（月）



郡山城跡石垣とボンネットバス



柳沢文庫



和田徳



箱本館「紺屋」



「町家物語館」



「町家物語館」

◆ 旅行代金 おひとり 5,700 円

最少催行人数 20 名  
コース No. E-5250

バス行程

JR郡山駅東口①乗り場（9：00出発）＝近鉄郡山駅バス停②乗り場（9：20出発）＝和田徳・・・「町家物語館」・・・

源九郎稲荷神社・・・箱本館「紺屋」（昼食・近鉄郡山駅前・小花寿司お弁当）・・・中嶋源九郎餅本舗（買い物）＝郡山城跡・・・柳沢文庫・・・城址会館・・・天守台＝

菊屋（買い物）＝近鉄郡山駅バス停（15：55着）＝JR郡山駅東口（16：15着）

- 昭和41年製 いすゞ自動車のボンネットバスは、冷暖房はもとより乗り心地も悪いのが、今の時代かえって新鮮で楽しい思い出が作れるかも、また、昭和世代のあなたにとっては懐かしいあの時が甘く切なく蘇ってくるかも。
- 奈良にもあった大正時代の上流花街の繁栄を偲ぶ事が出来る遊郭建築ならではの造形美は圧巻。
- 小花寿司（創業50年余の老舗寿司店のお弁当を愉しんで頂きます）
- 「町家物語館」開館1周年記念イベントは1月8日（火）～14日（月）まで開催

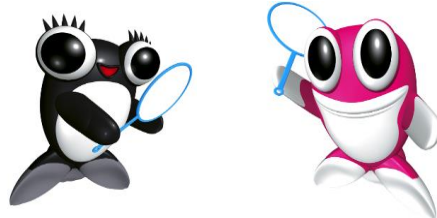
出発日	集合場所	出発時間
1月12日（土曜日）	JR郡山駅東口バス停①乗り場	9:00
	近鉄郡山駅バス停②乗り場	9:20

〈追加〉各種割引はご利用いただけません。

### 旅行のご案内

- この旅行は奈良交通株式会社（以下当社といいます）が企画・募集する国内旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社の募集旅行契約を締結することになります。
- 旅行契約のお申込みは、電話または最寄の旅行センター・案内所で承ります。旅行契約は、当社が契約の締結を承諾し、旅行代金全額を受理した時に成立するものとします。
- お客様は次に定める取消料をお支払い頂くことにより、旅行契約を解除することができます。
- 他の日、コースへ振替の場合でも取消料がかかります。
- 出発時刻は厳守下さい。ご連絡のない場合は出発し、その際の損害については当社は責任を負いかねます。
- 4) 自由散策中のいかなる損害についても当社は責任を負いかねます。任意保険の加入をおすすめします。
- 5) その他の旅行条件につきましては、ご予約時にお渡しする募集型企画旅行条件書によります。
- 6) 最少催行人員20人 7) 最少催行人員に満たない場合はツアーを中止する場合がございます。
- 旅行企画・実施 官公庁長官登録旅行業1646号 奈良交通株式会社（JATA会員）  
〒630-8651 奈良市大宮町1-1-25 総合旅行業務取扱管理者 佐藤 博実

旅行開始日の前日から起算して遡って下期にあたる日の解除	前日	旅行当日の解除	旅行開始後の解除
日帰りコース	11日目以降	10日目以降	7日目以降
取消料	無料	20%	30%
		40%	50%
			100%



お問い合わせ お申込みは

奈良交通本社旅行センター ☎0742-20-3140

# 報道資料

平成30年11月 29日

<p>件名</p>	<p>町家物語館1周年記念企画『町家と本と森のねんどの物語』 同時開催『昭和レトロ看板展』</p>
<p>日時</p>	<p>平成31年1月8日（火）～14日（月・祝）9:00～17:00</p>
<p>概要</p>	<p>町家物語館は耐震工事を終え、一般公開を開始してから平成31年1月10日に1周年を迎えます。魅力ある観光資源として、より多くの方に来訪いただけるよう、1周年記念企画を開催します。</p> <p>『町家と本と森のねんどの物語』 思わずほほえんでしまうような表情の人形。吉野割箸の木くずを利用した『森のねんど』を使った人形作家・岡本道康さんの作品を展示します。今回は、「大和郡山の森とふるさとを感じる文学空間」として大和郡山ゆかりの文学者、小野十三郎、川崎彰彦などの著作も展示する予定です。</p> <p>展示内容：ジオラマ・人形・本・写真パネル ※「森のねんど」とは…？ 吉野の森から切りだされた材木の端材で作られた割り箸の木くずから作られたねんどのこと。岡本氏の作品は、森や河原で遊ぶ子ども達やおじいちゃん、おばあちゃんなど、その豊かな表情に引き込まれる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>『昭和レトロ看板展』 昭和初期には町中でよく見かけた珞珈（ホーロー）看板。当時の企業が社運を賭けて生み出した物ですが、テレビ放送の普及とともに消えていきました。懐かしい看板をご寄贈又はお貸しいただき、展示します。</p> <p>展示内容：ボンカレー（大塚食品） 仁丹（森下仁丹） 等</p> 
<p>問合せ</p>	<p>大和郡山市役所 地域振興課 観光戦略室 ☎0743-53-1151（内線 562・563）</p>



思わずほほえんでしまうような表情の人形。

森から出たこもれ木を利用した『森のねんど』

を使った人形作家・岡本道康さんの作品展を、

一般公開開始から1周年を迎える

町家物語館で開催します。

また、昭和初期には町中でよく見かけた、

懐かしい<sup>ホーロー</sup>琺瑯看板の展示も合わせて行います。

大和郡山市 町家物語館 1周年記念事業

# 町家と本と 森のねんど

同時開催『昭和レトロ看板展』

開催日 2019年1月8日(火)~14日(月・祝)

時間 9:00~17:00 (最終入場は16:30)

場所 町家物語館(旧川本家住宅) 大和郡山市洞泉寺町8

問合せ 大和郡山市地域振興課 tel.0743-53-1151

Photo © Y.yoshikazu



『森のねんど』とは…

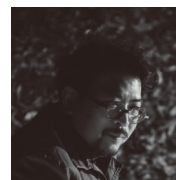
吉野の森から切り出された材木の端材で作られた割り箸の木くずから作られたねんどのこと。

自然と共に生きる地域の未来を『森のねんど』を通して感じてください。

人形作家 岡本道康

京都・京丹波町生まれ。現在、奈良県香芝市在住。DEKIKOTO 代表。京都府精華町・KIKCS に森のねんど研究所を構える。木を育て、森を守っていた営林署勤めの父親の背中を見て育ち、幼い頃から森が大好きだった。2012年に『森のねんど』を開発し、人形、からくり人形などをつくる。森のねんどのまちづくりも企画。奈良地域デザイン研究所所属。

<https://www.facebook.com/michiyasu.okamoto>





# 報 道 資 料

件 名	「第7回 水木十五堂賞」受賞者発表及び授賞式について
授 賞 式 日時・場所	平成31年1月26日(土) 午後1時30分～ (受付：午後1時～) DMG MORI やまと郡山城ホール
概 要	<p>大和の歴史や文化など幅広い分野に関する蒐集と博識から、いつしか「大和の水木か、水木の和か」と呼ばれ、大和を代表する研究者、文人であり、本市に縁のある偉大な先人である水木要太郎（十五堂は雅号）の功績にちなみ、歴史、伝統文化、自然など様々な分野において、蒐集を行うとともに博識をもって社会に貢献した人物を表彰します。（平成24年度から創設。）</p> <p>水木十五堂賞選考委員会〔千田 稔 委員長（奈良県立図書情報館長）〕により、第7回受賞者は、大和の映像作家として『奈良には365の季節がある』をテーマに、現地に赴き、大和の風景を映像叙事詩として蒐集し、その映像を様々な手法で広く紹介するなどして活躍されている 保山 耕一 氏に決定しました。</p> <p>授賞式の概要は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授賞式（賞状、記念品、副賞（50万円）の授与）</li> <li>・受賞記念講演（保山 耕一 氏）</li> <li>・記念座談会（予定）</li> </ul> <p>保山 耕一 氏 神崎 宣武（旅の文化研究所長） 岡本 彰夫（奈良県立大学客員教授） 柳澤 保徳（帝塚山大学特別客員教授） 上 田 清（大和郡山市長）</p> <p>参加希望者は、住所・名前・電話番号・参加人数（3名まで）を電話・FAX・メールにて下記へ。大和郡山市ホームページからも申込可能。 (申込み受付は、12月5日（水）から開始。) [参加費無料・要申込み] TEL：0743-53-1160 FAX：0743-53-1049 E-mail：mizuki@city.yamatokoriyama.lg.jp <a href="https://www.city.yamatokoriyama.nara.jp/">https://www.city.yamatokoriyama.nara.jp/</a></p> <p>【主催 水木十五堂賞運営協議会、大和郡山市、大和郡山市教育委員会】</p>
問合せ	大和郡山市 総務部 企画政策課 担当：笠原 TEL 0743-53-1160 FAX 0743-53-1049

(別紙)



ほざん こういち

保山 耕一

1963年、東大阪市にて生まれる。

フリーランステレビカメラマンとしてドキュメンタリーからスポーツまでジャンルを問わず撮影。主に世界遺産や京都・奈良の寺社に関わる番組を担当する。

2013年に直腸ガンの手術を受け、その後は映像作家として「奈良には365の季節がある」をテーマに奈良の季節にレンズを向ける。

2016年、春日大社にて「映像詩・かすがの煌めき」を奉納上映。同年、奈良県主催シンポジウムにて「映像詩・桜とともに生きる」を上映。

2017年、ムジークフェストならにて「千住真理子&保山耕一、音楽と映像で巡る奈良の四季」を開催。同年10月、奈良県主催シンポジウムにて「天忠組」を上映。同年11月、国民文化祭なら2017（フィナーレ）にて「大和の誇り」を上映。

2018年5月、「映像作家・保山耕一作品上映会」開催（主催：奈良県立図書情報館）。同年9月、なら国際映画祭2018春日大社奉納上映にて「映像詩、春日大社～私の命と春日の神様～」を奉納上映。

## 《選考理由》

「奈良には365の季節がある」をテーマに全身全霊をかけて撮影される大和の映像は、人々の心の琴線に触れるものであり、現地に赴き、大和の風景と時の移ろいを秀逸な映像叙事詩として蒐集し、また、その映像を様々な手法で広く紹介するとともに、テレビ番組「情熱大陸」「世界遺産」「真珠の小箱」などの映像も制作し、それらの作品は映像作家として高い評価を受けている。

## 《保山 耕一 氏 受賞コメント》

「本当にやりたい事を真心持ってやり続ければ、誰かがそれを見ていてくれる」

水木十五堂賞の吉報を頂いた時、私は感謝の気持ちを持って、そう感じました。私は映像作家を名乗っていますが、5年前まではテレビカメラマンを生業としていました。末期癌の診断を受け、手術後は後遺症と抗癌剤の副作用により、職場への復帰を断念。社会との繋がりを断たれ、余命を意識した生活の中で、私は本当に撮りたいものは何かと自問自答した時、その答えは幼い頃から慣れ親しんできた奈良の風景だったのです。海外の世界遺産を撮影した経験から、奈良の四季、日々変化する繊細な季節の移ろいは、奈良でしかない奇跡だと感じていたのです。「奈良には365の季節がある」その思いをテーマに、奈良の表情豊かな季節の風景にレンズを向け続けました。

そうして撮影した短編作品は3年間で約500作となり、その映像の資料的価値を評価して頂いた選考委員の皆様に深く感謝しています。

## 《平城宮跡歴史公園 特別企画展 美しき都 平城 保山耕一 映像展「時の雫」》

映像作家 保山耕一氏が、病との闘いの中で撮影した平城宮跡をはじめとする美しき奈良の映像展です。

期 間 平成30年10月6日（土）～12月28日（金）  
時 間 10：00～18：00（入館17：30まで）  
休館日 2月・4月・7月・11月の第2月曜日（祝日の場合は翌日） 12／29～1／1  
場 所 平城宮いざない館 企画展示室  
（平城宮跡歴史公園 奈良市二条大路南三丁目5番1号 0742-36-8780）  
料 金 無料

◎受賞者本人への取材は可能です。

TEL：090-3272-7819

E-mail：hozankoichi@gmail.com

奈良県生駒市在住

◎当市から授賞式の写真提供は可能です。

【主な蒐集品】

大和の映像作品を約500本

〔参考 URL〕 [https://www.youtube.com/channel/UCulGvOCOU\\_8\\_EPmSJJS9PvQ](https://www.youtube.com/channel/UCulGvOCOU_8_EPmSJJS9PvQ)



「吉野山の桜(4:01)」より



「安堵町西安堵(3:09)」より



「細川夕焼け(4:43)」より



「郡山城跡のしだれ桜(2:54)」より



「朱雀門と虹(4:49)」より



「奈良の秋 2015 年(6:24)」より



「奈良の秋 2015 年(6:24)」より



「雪の談山神社(4:20)」より

# 水木十五堂賞 選考委員会

委員長	千田 稔	(奈良県立図書情報館長)
副委員長	神崎 宣武	(旅の文化研究所長)
委員	岡本 彰夫	(奈良県立大学客員教授)
委員	久留島 浩	(国立歴史民俗博物館長)
委員	瀧浪 貞子	(京都女子大学名誉教授)
委員	武田佐知子	(大阪大学名誉教授)
委員	松本 紘	(理化学研究所理事長)
委員	柳澤 保徳	(帝塚山大学特別客員教授、郡山城史跡・柳沢文庫保存会副理事長)
委員	吉田 栄治郎	(郡山城史跡・柳沢文庫保存会研究員)
委員	上田 清	(大和郡山市長)

(平成30年4月1日現在)

# 「水木十五堂賞」 歴代受賞者 一覧

## ◆ 第1回 水木十五堂賞 (平成24年度)



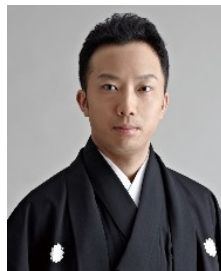
- ・受賞者 あらまた ひろし  
荒俣 宏 (作家、博物学者、評論家)
- ・選考理由 博物学者、作家、評論家など、幅広い分野で活躍されるとともに、様々な資料等の蒐集を行われ、現代の『生き字引』にふさわしい博識でもって社会に貢献されている。
- ・授賞式 平成25年2月2日(土) やまと郡山城ホール

## 第2回 水木十五堂賞 (平成25年度)



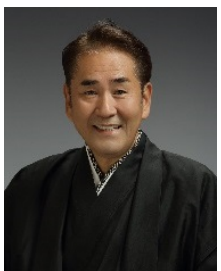
- ・受賞者 ひだ こうぞう  
肥田 皓三 (元関西大学文学部教授)
- ・選考理由 書誌学者、日本文学者として、大阪の庶民文化、近世文学、上方芸能史などに関する研究と膨大な資料蒐集を行われ、『なにわ学』の大家として社会に貢献されている。
- ・授賞式 平成26年2月9日(日) やまと郡山城ホール

## 第3回 水木十五堂賞 (平成26年度)



- ・受賞者 よだ いめ いちかわ えんのすけ  
四代目 市川 猿之助 (歌舞伎役者、俳優)
- ・選考理由 歌舞伎役者、俳優等として幅広く活躍されるとともに、多数の浮世絵や陶磁器などの蒐集を通して、わが国の伝統文化の継承・発展に貢献されている。
- ・授賞式 平成26年12月26日(金) やまと郡山城ホール

## 第4回 水木十五堂賞 (平成27年度)



- ・受賞者 つじもと かずひで  
辻本 一英 (阿波木偶箱まわし保存会顧問)
- ・選考理由 戦後、消滅しかけていた徳島県に特徴的な木偶人形による阿波木偶箱まわしで用いる木偶や用具などの資料の蒐集を行われ、伝統芸能の復興・継承に大きく関わり、社会に貢献されている。
- ・授賞式 平成28年1月31日(日) やまと郡山城ホール

## 第5回 水木十五堂賞 (平成28年度)



- ・受賞者 しま りえこ  
島 利栄子 (女性の日記から学ぶ会代表)
- ・選考理由 従来注目されることが少なかった庶民、特に女性の日記の蒐集を行い、庶民の暮らしを実証する貴重な資料として保存、活用し、次代に正しく伝えることに貢献されている。
- ・授賞式 平成29年1月29日(日) DMG MORI やまと郡山城ホール

## 第6回 水木十五堂賞 (平成29年度)



- ・受賞者 よしだ しんいちろう  
吉田 真一郎 (近世麻布研究所所長、美術家)
- ・選考理由 江戸時代から近現代まで日本人が着用していた『麻』などの自然布の蒐集を行い、産地を示す印や繊維に関する膨大な研究から高い評価を受け、その成果は社会的にも貢献されている。
- ・授賞式 平成30年1月27日(土) DMG MORI やまと郡山城ホール